

令和元年度(第46回)山形市伝統的工芸産業技術功労者褒賞受賞者の決定について

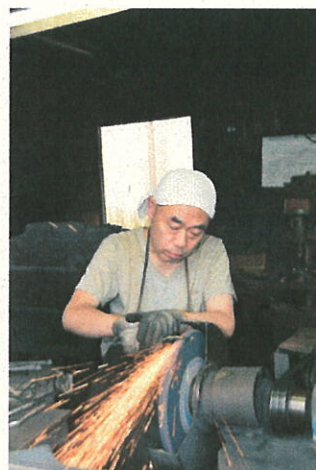
1. 褒賞の目的

伝統的工芸産業技術の保存及び後継者育成を図るため、長年にわたり伝統的工芸産業に従事し、技術・技法の伝承に尽くされ、業界振興に多大な貢献をなされてきた方々を褒賞するもの。

2. 選考基準

- ①技術技法の伝承と発展に寄与した者
- ②後継技術者の指導育成に努め、その功績が顕著な者
- ③経験年数満30年以上を有し、かつ年齢が満50歳に達した者
- ④社会の福祉、環境の整備その他公益事業等に貢献し、功績が顕著な者

3. 受賞者4名



籐工芸 <small>あいたげんじ</small> 會田 源司 【有限会社ツルヤ商店】	打刃物 <small>こまつけんいち</small> 小松 憲一 【小松製鋏所】	山形鋳物 <small>にいげき たかお</small> 二位関 隆夫 【株式会社菊地保寿堂】	山形鋳物 <small>あびこしろうじ</small> 安孫子 四郎治 【工房あびこ】
1907年創業の籐製品製造業の四代目として、籐素材のハンドメイド製品を作り続けている。現代的でデザイン性に優れた商品の開発に意欲的で、山形エクセレントデザイン賞など数々の受賞歴を持つ。また、山形市伝統的工芸品振興会の会長を務める。	手作りならではの魅力ある剪定鋏を製作している。全国でも数少ない、鋏の柄と刃を真鍮でロウ付けして作るA型剪定鋏を生産する技術を持つ。山形打刃物工業協同組合の監事を務め、製鋏業に限らず、打刃物業界をけん引する存在になることが期待されている。	山形鋳物の多様で高品質な唐銅鋳造技法を保持しており、茶の湯釜や鉄瓶の蓋で最高級品の「芦屋蓋」を作る技術を持つ、山形でも数少ない職人である。薄肉で秀麗なブロンズ彫刻を作る技術が評価され、芸術家・岡本太郎氏の作品を手掛けた経験がある。	山形鋳物の卸売業とオリジナル製品の開発を行っており、卓越した着色技術を有する。漆、塗料、鋳の工程を経て生み出される独特の風合いが特長である。商品開発の発想力に長けており、手作業で木型を製作できるため、様々な形の商品を製作できる。

4. 褒賞式

- (1) 日時 令和元年11月5日(火)午後4時30分～
- (2) 会場 山形グランドホテル3階「白鳥」

【問合せ先】
山形市商工観光部山形ブランド推進課
TEL023-641-1212 内413

「令和元年度（第 56 回）三浦記念賞」受賞者の決定について

1 受賞者（3 個人）

	氏名	年齢	住所	主な役職
1	いしざわ まりこ 石澤 眞理子	72 歳	山形県山形市	株式会社ワイム 代表取締役社長
	<p>株式会社ワイムの代表取締役社長として同社を率い、卓越した指導力で生産性向上を図りながら、社業の隆昌と電気機器製造業界の振興発展に貢献してこられました。</p> <p>同業界では数少ない女性雇用主として、山形県の 2 つの審議会委員を務め、本県産業の振興・発展と、職業訓練や能力開発による就労支援について提言しておられます。</p> <p>また、社員の資格取得を奨励し人材育成に尽力するとともに、「日本の未来を担う若者たちにモノづくりの魅力を伝えたい」という思いから、地元学生をはじめとするインターンシップや職業体験の受入れに加え、海外技能実習生への技術指導を積極的に行う等、同業界への就労支援と振興発展にも貢献していただいております。</p>			
2	やの ひてや 矢野 秀弥	67 歳	山形県山形市	株式会社山形丸魚 代表取締役社長 山形商工会議所 副会頭 山形芸妓育成支援協議会 会長
	<p>株式会社山形丸魚の代表取締役社長として同社を率い、卓越した先見性と指導力で経営統合を主導し、県内最大級の水産物卸業者の地位を確立して同業界を牽引しながら、市場における競争の向上を図ってこられました。</p> <p>また、山形商工会議所では長年に渡り役員を務め、地域卸売業界が抱える課題解決に向けた提言活動や会員交流事業等に積極的に取り組み、商工業団体の育成強化と振興発展に尽力しておられます。</p> <p>さらに、「山形芸妓育成支援協議会」会長、「やまがた舞子を育てる会」副会長として、やまがた舞子及びやまがた芸子の育成支援と山形伝統芸能の継承に尽力しているほか、「山形日華親善協会」の副会長も務め、本県を訪れる外国人旅行者を含む観光客の増加と地域振興に貢献していただいております。</p>			
3	むらやま いさお 村山 功	60 歳	山形県山形市	株式会社ムラヤマ 代表取締役 山形西部鉄工団地協同組合 理事長 山形県鉄構工業組合 理事長
	<p>株式会社ムラヤマの代表取締役として同社を率い、自社内開発工具の特許取得や新技術の開発・実用化等を決断するとともに、産業の基盤となる人材育成と技術継承のため社内で技能五輪を開催する等、常に県内の鉄骨加工業界をリードする取組みで、業界の技術の向上、普及、発展に貢献してこられました。</p> <p>また、山形西部鉄工団地協同組合の理事長をはじめ、本県及び全国の鉄構工業団体の要職を務め、行政機関や関連団体等に対し業界を代表する立場で会員企業の経営や技術の総合的な改善向上等に向けた陳情を行う等、業界の発展と振興に大いに貢献していただいております。</p>			

2 表彰式

- (1) 日時 令和元年12月10日(火) 午後5時から
- (2) 場所 山形グランドホテル

3 三浦記念賞とは

「三浦記念賞」は、公益財団法人三浦新七博士記念会が、山形市の産業経済の向上に功績があった個人又は団体に対して毎年授与しております。この賞は、昭和38年度に発足し、昨年度まで93個人、56団体が受賞しております。

4 公益財団法人三浦新七博士記念会とは

公益財団法人三浦新七博士記念会（代表理事：佐藤孝弘）は、故三浦新七博士が生前、念願してやまなかつた山形市の産業経済の発展を図るため、産業経済の向上に功績があった個人又は団体に対する「三浦記念賞」の授与、商工業振興に関する調査研究、講演会の開催等の事業を行い、もって本市の産業経済の発展に寄与することを目的とし、昭和38年3月15日に設立されたものであります。

〔 三浦新七博士…法学博士で文明史家。両羽銀行（現山形銀行）頭取、東京商科大学長、日銀参与などを歴任し、山形市の産業経済の発展に寄与した。 〕

5 選考基準

- (1) 発明、発見その他の開発研究により、本市産業経済の発展向上に顕著な功績を上げたものであること。
- (2) 商工業団体の育成強化に寄与し、又は商工業団体の活動を通して地域の振興に尽力し、その功績著明なものであること。
- (3) 商工業界の能率向上、合理化等に尽力し、著しく産業の発展に寄与したものであること。
- (4) 技術の向上、普及又は人材の育成に尽力し、商工業界の振興に貢献したものであること。
- (5) 異業種交流や新分野への進出を図り、新製品の開発、販路開拓に著しく功績のあるものであること

【問合せ先】

(公財) 三浦新七博士記念会事務局
(山形市商工観光部山形ブランド推進課内)
Tel 641-1212 (内線 412)

新光三越台南新天地での山形市観光物産プロモーションについて

1 目 的

平成 29 年 12 月 6 日に締結した「山形市と台南市の友好交流促進に関する協定」に基づき、台南市内の百貨店において、山形市の PR や物産販売を行い、台南市における山形ブランドの価値向上及び友好交流の促進を目的とする。

2 開催期間

令和元年 11 月 14 日（木）から 12 月 2 日（月）まで（19 日間）

※営業時間 午前 11 時 00 分から午後 10 時 00 分まで

3 開催場所

新光三越台南新天地 6 階 催事場（台南市西門路一段 658 號）

4 内 容

- (1) 台南市の高級百貨店において開催される最大規模の日本物産展「新光三越日本商品展」に山形市ブースを出展することで、山形ブランドの価値向上及び友好交流を図る。
- (2) 山形市の PR 及び観光誘客コーナーの設置
 - ① 山形市長によるトップセールス（11 月 15 日）
※市民訪問団派遣期間 11 月 12 日～11 月 16 日
 - ② ミス花笠による山形 PR 及び花笠踊りの披露（11 月 15 日・16 日）
 - ③ 山形の伝統こけし工人（梅木直美氏）による製作実演及び絵付け体験（11 月 15 日・16 日）
 - ④ 山形市観光コーナーの設置（観光パネル・パンフレット・DVD 放映、山形市のお宝広報大使「はながたベニちゃん」グッズの配布）
- (3) 山形特産品の販売
 - ① 実演販売（ラーメン・どんどん焼き）
 - ② 食料品ブース（菓子類、お茶）
 - ③ 伝統工芸品ブース（こけし、籐製品、平清水焼）
 - ④ 地酒ブース（日本酒・梅酒・焼酎の販売）

【問合わせ先】

山形市商工観光部山形ブランド推進課
連絡先 641-1212（内線 412）

仙山連携による大台南国際トラベルフェアへの出展について

1 目的

共に台南市と友好協定を締結している仙台市と連携し、台南市及び周辺地域の住民に対し仙山地域が一体となった魅力ある観光地として紹介することにより、台南市及び周辺地域から仙山地域への誘客を図る。

2 日時

令和元年 11 月 22 日（金）～25 日（月） 各日 10:00～18:00

3 場所

南紡ワールドトレードセンター（台南市仁徳区義林路 77 号）

4 内容

- ・台南市旅行商業同業協会が主催する大台南国際トラベルフェアに、仙台市と共同で出展し、仙山地域への誘客に向けたプロモーションを行う。

＜出展内容（予定）＞

動画による仙山地域の観光地紹介、VR による蔵王温泉スキー場の体験、来場者アンケート、ノベルティ配布、ポスター・パンフレットによる PR 等

【参考】

- ・2018 年開催時の来場者数…約 13 万人（主催者発表）
- ・出展予定の国内自治体…静岡県富士宮市、熊本県天草市

（自治体名は 10 月 15 日時点で公式 HP に記載のもの）

問い合わせ先

商工観光部観光戦略課 DMO 推進グループ

TEL023-641-1212（内線 425）

令和元年度山形市ふるさと納税推進事業
フルーツ先行予約（令和 2 年産）の実施及び体験型返礼品の拡充について

1 フルーツ先行予約（令和 2 年産）の実施について

(1) 目的

山形市の特産品を代表するフルーツの「山形ブランドの確立」を推進し、更なる寄附金額の増加を図ることを目的として「フルーツ先行予約」を実施するもの。

(2) 先行予約期間

令和元年 11 月 8 日（金）から令和 2 年 3 月 31 日（火）まで

(3) 協力提供事業者

12 事業者

(4) 返礼品 ※随時追加予定

返礼品	寄附金額	提供数
さくらんぼ（佐藤錦、紅秀峰）	10,000 円～350,000 円	97,940 件
ぶどう（シャインマスカット・キングデラなど）	10,000 円～ 50,000 円	21,790 件
もも（川中島、あかつきなど）	10,000 円～ 20,000 円	14,510 件
フルーツ定期便	30,000 円～150,000 円	18,450 件
その他（梨、メロン、プラムなど）	10,000 円～ 20,000 円	9,350 件
合計		162,040 件

2 体験型返礼品の拡充について

(1) 目的

年末のふるさと納税の駆け込み需要を控え、市内温泉地の体験型返礼品を充実し、寄附の獲得とともに、市内温泉地の魅力を全国に発信するもの。

(2) 寄附の申込み期間

令和 2 年 3 月 31 日（火）まで 新規及び拡充返礼品は 11 月より順次取扱い開始予定

(3) 体験型返礼品 ※随時追加予定

① 蔵王温泉

返礼品	寄附金額	備考
蔵王温泉スキー場リフト 1 日券特別優待引換券	30,000 円	継続
蔵王温泉共通商品券（3,000 円分）	10,000 円	新規
蔵王温泉ロープウェイ乗車券	10,000 円	新規
宿泊券（3 施設 ⇒ 9 施設）	50,000 円～予定	拡充

② 黒沢温泉

返礼品	寄附金額	備考
宿泊券（1 施設）	70,000 円予定	新規

問い合わせ先
商工観光部山形ブランド推進課
ふるさと納税グループ
TEL023-641-1212 内 407